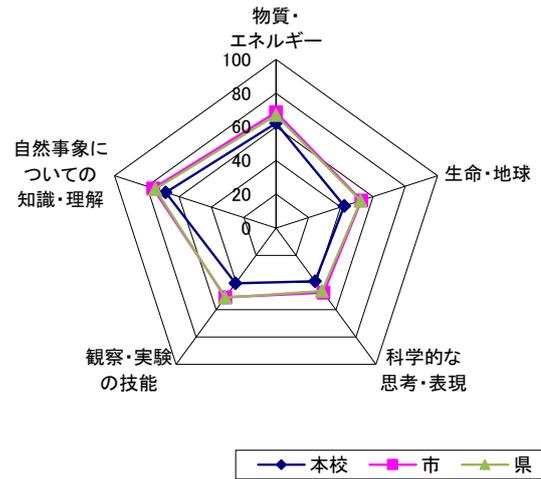


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	62.2	68.6	66.9
	生命・地球	42.2	52.8	52.4
観点	科学的な思考・表現	39.1	47.4	46.2
	観察・実験の技能	40.6	50.8	51.1
	自然事象についての知識・理解	68.3	76.1	74.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>○物は形が変わっても重さは変わらないことについて、正答率は94.4%と高い正答率であった。市平均を4.6%上回る結果であった。</p> <p>○虫眼鏡で集光した所の大きさと明るさの変化についての問題では、69.4%の正答率であった。市平均を1.1%上回る結果であった。</p> <p>●輪ゴムをのばす長さとの走る距離の関係についての問題では、58.7%の正答率であった。市平均を1.5%上回ってはいるが、個人差がかなり見られる。</p>	<p>・フォローアップシートを活用して既習事項を復習し、再度定着を図る。</p> <p>・実験や観察が好きな児童は多いため、実験の前に目的や方法について時間をとって指導し、目的意識をもって実験に取り組めるようにする。</p> <p>・実験や観察の結果から分かることなど、考察を自分の言葉でまとめる時間を設け、自然の規則性や現象について理解を深められるようにする。</p>
生命・地球	<p>●市平均を下回った。</p> <p>昆虫の体のつくりのうち、腹の部分の名称を問う問題では、正答率は72.2%であった。市平均を12.8%下回る低い結果であった。誤答や無回答が目立ち個人差も大きかった。</p> <p>昆虫の育ち方には一定の順序があることについての問題では、61.1%と低い結果であった。市平均を19.3%下回った。また、かなり個人差が見られた。</p>	<p>・昆虫へ興味を持つ児童は多い。そのため、昆虫をただ飼育するだけでなく、定期的に継続して観察したり、一部の児童だけでなく全員で観察する機会を設けたりして、昆虫への関心をさらに高められるようにする。</p> <p>・フォローアップシートを活用し、昆虫の体のつくりについて、再度全員で既習事項の確認をする。また、朝学習の時間に復習プリントで繰り返し学習し、定着を図る。</p>